

上越市議会議員

6児の母

発行/鈴木めぐみ 〒942-0233 上越市大字岡崎新田226番地 TEL.025-520-2320

Suzuki Megumi

鈴木めぐみ

市議会

vol.04
2024 Spring

NEWS

6児の母が上越を変える!

鈴木めぐみの
上越への想い

YouTube



たとえ一人でも
子どもの笑顔を守ります!

若者・女性・子育て世代の声を市政へ

上越を『日本一子育てしやすい環境』に変える!

今の上越市に、子育て世代の声、女性の声、若者の声は届いているのでしょうか?

私はそんな届きにくい声を市政へ届けるため、この4年間活動してきました。

現役世代!子育て世代の皆さん!もっと私たちが住み良い、子育てしやすい上越にしませんか。

若い世代の皆さん、ずっと住み続けられる、元気で楽しい上越にしませんか。

私、鈴木めぐみは、

これからも大きな声だけでなく、なかなか声を上げにくい小さな声や思いにも真剣に耳を傾け、それをしっかりと市長や市に伝えていきます。

その姿勢はこれからも変わりません。

たとえ一人でも、みなさんの将来の不安を少しずつでも減らしていくために、

鈴木めぐみは、行動します!

鈴木めぐみ プロフィール

昭和53年 8月8日 新潟市生まれ、うま年、しし座、A型
平成 9年 新潟県立新発田農業高等学校卒業
平成11年 アップルアートカレッジ ビジネスマジメント科卒業
平成15年 結婚、上越市へ
平成16年 第1子出産(18年 第2子・20年 第3子・21年 第4子・24年 第5子 出産)
平成26年 グランクルーワン合同会社設立、再生可能エネルギー事業立ち上げ
平成28年 第6子出産。ヤギを2頭飼育し、搾乳体験、情操教育。除草でも活躍。
平成29年 千葉県にて太陽光発電事業開始
令和 元年 認定農業者として上越市より認定される

令和 元年 市内初のソーラーシェアリング(営農型太陽光発電)にてブルーベリー栽培を開始

令和 2年 上越市議会議員 当選

令和 3年 子ども食堂 たまごのめぐみ(現 だいちのめぐみ)開設

令和 4年 観光農園・農福連携施設 たいようのめぐみ開設

令和 5年 ままの味方 えすてのめぐみ開設

平成30年 上越市内認定こども園PTA会長

令和 元年 上越市内認定こども園PTA役員、上越教育大学附属小学校1学年委員長

鈴木めぐみ 事務所

〒942-0233 上越市大字岡崎新田226番地
☎ pm3to@grandcruone.com



6児の母

上越市議会議員

鈴木めぐみ

『上越を変える!』

Change



1

若者・子育て世代・女性にやさしいまちづくり

- ・若者、女性、子育て世代の「届きにくい」声を市政へ!
- ・日本一子育てしやすい環境を本気で目指す!
- ・子育て、暮らし、地域を守る!

若者・子育て世代・女性が安心して家庭を持ち、子育てができる環境を整備します。上越市における子育ての充実、少子高齢化対策にも繋がります。若者向けの就職支援プログラムの拡充、起業支援策の充実、住宅支援策などを促進し、若者が地域で長く生活しやすい条件を整えます。農業、畜産業支援、障がい者支援を通じ、全ての若者たちが、この地域で自信を持って明るく輝くライフプランを送れるように支援します。

2

子どもファーストの政策加速

・子育て支援政策の拡充から、子どもファースト社会の実現へ
子ども食堂やフードパントリー、子どもの第三の居場所への支援を行い、こどもの貧困(食事、学び等)を解消し、貧困の連鎖を断ち切るため、こどもの学習支援、生活支援を強化します。子育てと仕事を1人で担わざるを得ない、ひとり親家庭が抱える様々な課題に対応するため、児童扶養手当の拡充のほか、就業支援、養育費確保支援などを多面的に強化します。



3

子育て費用の無償化

子育ての経済的障壁を取り除くことは、子どもを持つことに対するハードルを下げ、出生率の向上に寄与することが期待できます。社会的平等の促進として、すべての子どもが平等なスタートラインに立てるようになり、教育や福祉の機会均等につながります。



『日本一子育てしやすい環境』に変える!

鈴木めぐみの提言

	現在の ^{上越}	鈴木めぐみの提言
子ども医療費	18歳まで受診一回530円、入院1日1,200円	18歳まで無料化
保育料	3歳児から無料化(国)、0~2歳児は有料	1・2歳児クラスを無料化
乳児おむつ	自己負担	保育園等で1歳まで無料提供化
放課後児童クラブ	市民税非課税世帯は無料、平日午後7時まで、土曜と長期休暇中は運営	利用料の無料化、午後8時まで延長、日曜日・祝日も運営
学校給食	自己負担	無料化と地産地消メニュー
奨学金制度	貸与型奨学金「奨学金」という名の借金	給付型奨学金制度の新設、貸与型奨学金返還支援の拡充
学習支援	なし、各家庭負担で塾や家庭教師を利用	子どもたちへの学習支援 無料 (大学生や地域の方へ謝金を払い、学習支援を図る)
部活動	指導者への謝礼金を市から一部補助予定	地域移行、手厚い支援
公共施設の利用料	子どもパスポートの利用で土曜のみ無料	市内の子どもの公共施設利用無料化
子育てジョイカード	18歳未満の子どもが3人以上いる世帯のみ	子ども1人目からに

これら、全てを所得制限なしとする